

特色ある取り組み **ココに発見!!**

全国に発信 高校のチカラ

東京都

東京女子学院高等学校

シリーズ・22

「気品ある女性の育成」を建学の精神に掲げる東京女子学院高等学校(東京都練馬区)。同校は、2021年度より、本格的にSDGs教育を導入している。ここでは、11月19日に実施した講演会のレポート共に、野口潔人校長にSDGs教育を進める意義について聞いた。

未来のビジョンを描き、イキイキと活躍できる人材の育成を目指す

授業を通して自然と身につける「SDGs」を「自分事」とする

これまで、公立小・中学校の教員を36年間務めてきた。高校教育に本格的に携わるようになったのは、本校の校長に就任した平成30年4月からです。本校が進める従来の女性教育「教育活動」を最大限活かしながらこれを整備し、現代社会のニーズに対応するの同時、より一層魅力的な中高一貫校として「教育活動」を展開するべく、模索しています。

近年、社会は「SDGs」一色に染まった印象があります。関心は、やがて上にも高まっており、教育においても国・公・私立あるいは小・中・高校など既存の枠組みを問わず、関連した取り組みがさまざまな形で実施されていることに注目しました。持論として、「SDGs」や「SDGs教育」という言葉がSDGs教育ではないと考えているのです。例えば、日常の授業の学びの内容をSDGsに関連させていることも少なからずあります。気づけば「SDGs教育」や「SDGs」を軸に、キャリア教育もつなげていけるのではないかと考え、本格導入に向けた準備を進めてきました。率直に言えば、現在もそのような形がよいのかと

いづいづい模索している状況です。13〜18歳までの中学・高校生にSDGsを通して、社会が直面しているさまざまな問題が、実は自分に大きく関わっているということ、つまり「自分事」であるということを意識させたいというのが、SDGs教育を本格的に取り入れる意図です。その視座を得て、本校でも「Think globally, act locally」——地球規模で考え、身近なところから行動しよう——というスローガンを掲げるとともに、SDGs教育を導入するに際して、私自身が、一般社団法人イコマコボが開発した「SDGsカードゲーム」のファシリテーターの養成講座を受講し「資格取得ファシリテーター」の資格を取っています。実際に「総合的な探究の時間」を活用して、校長自らがファシリテーターとなり、全クラスに入れ替わりで実施しています。



校長自らがファシリテーターとしてSDGsの本質を気づかせている。

私は新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が感染拡大する以前に、児童・生徒から年配の方を含む10人程度のグループでゲームを体験した。その結果、本校の生徒にもぜひ体験させたいと考え、ファシリテーターを志願したのです。令和3年度は、1学期に高校1年生、2学期に高校2年生、高校3年生には卒業直前のタイピングで体験してもらおうと、SDGsカードゲームを重要テーマの一つが、振り返りの時間です。ゲームの体験から得る感覚と現実世界を結びつけて考えることで、より身近な問題としてとらえられるようになります。そのように進めるのがより効果的なのかという点に関しては、今現在も手探り状態です。

SDGs教育を通して、社会的な課題を「自分事」として理解することができ、日常生活にも取り入れられるようになることが、特に学習成果により良い変化をもたらすのではないかと期待しています。仮に、自分のことに関心があることが、身近なことに目を向けるきっかけになるのであれば、SDGs教育は、まさにそのためのツールとして、活用できるのではないかと考えています。

授業の中に隠された「SDGs」 「職業と探究」で新事業を提案

「探究学習」に関しては、「SDGs」は社会情勢に向けての取り組みがなされている点が良い「SDGs」を先頭に「探究」につながるテーマが提示されたことで、学習を進めやすくなったというように、趣旨の印象を抱く教員が少なくありません。その一方で、その意味では、一定の効果があったと自信は、生徒は、一方、課題としては、生徒は、探究型授業を行う上で前提となる知識を習得している必要

があったため、授業内容が偏ることや、バランスよく学べるようになるという「中・高6年間を通しての道徳を具体的に決める実践」については、本校の取り組みに関して十分理解が深まらず、その回答が寄せられました。特に興味深いところとして、評価したいのが「職業探究」です。これは、高校2年生を対象とする授業で、実在する企業から「ミッション」を頂戴し、新規事業を提案するというプロジェクトです。生徒は、自分が担当する企業の事業内容や顧客層など、あらゆる角度からリサーチを重ね、その企業の特徴を活かした新規事業案を提案していきます。

企画の練り込みの段階で、企業の担当者や教員から辛口のフィードバックをもらうことがあつた。SDGs教育を通して、自分の能力を活かせる人材を育てたい。そして、より社会に貢献したい。これらを期待しています。

「SDGs」は、持続可能な開発のための教育」の取り組みを計画的に位置づけ、入学試験として「SDGs入試」を導入し、前面に押し出している。その着想から「SDGs」を軸に、キャリア教育もつなげていけるのではないかと考え、本格導入に向けた準備を進めてきました。率直に言えば、現在もそのような形がよいのかと

「SDGs」は、持続可能な開発のための教育」の取り組みを計画的に位置づけ、入学試験として「SDGs入試」を導入し、前面に押し出している。その着想から「SDGs」を軸に、キャリア教育もつなげていけるのではないかと考え、本格導入に向けた準備を進めてきました。率直に言えば、現在もそのような形がよいのかと

「SDGs」は、持続可能な開発のための教育」の取り組みを計画的に位置づけ、入学試験として「SDGs入試」を導入し、前面に押し出している。その着想から「SDGs」を軸に、キャリア教育もつなげていけるのではないかと考え、本格導入に向けた準備を進めてきました。率直に言えば、現在もそのような形がよいのかと

「SDGs」は、持続可能な開発のための教育」の取り組みを計画的に位置づけ、入学試験として「SDGs入試」を導入し、前面に押し出している。その着想から「SDGs」を軸に、キャリア教育もつなげていけるのではないかと考え、本格導入に向けた準備を進めてきました。率直に言えば、現在もそのような形がよいのかと



野口 潔人 校長

「SDGs」は、持続可能な開発のための教育」の取り組みを計画的に位置づけ、入学試験として「SDGs入試」を導入し、前面に押し出している。その着想から「SDGs」を軸に、キャリア教育もつなげていけるのではないかと考え、本格導入に向けた準備を進めてきました。率直に言えば、現在もそのような形がよいのかと

「SDGs」は、持続可能な開発のための教育」の取り組みを計画的に位置づけ、入学試験として「SDGs入試」を導入し、前面に押し出している。その着想から「SDGs」を軸に、キャリア教育もつなげていけるのではないかと考え、本格導入に向けた準備を進めてきました。率直に言えば、現在もそのような形がよいのかと

「SDGs」は、持続可能な開発のための教育」の取り組みを計画的に位置づけ、入学試験として「SDGs入試」を導入し、前面に押し出している。その着想から「SDGs」を軸に、キャリア教育もつなげていけるのではないかと考え、本格導入に向けた準備を進めてきました。率直に言えば、現在もそのような形がよいのかと

「SDGs」は、持続可能な開発のための教育」の取り組みを計画的に位置づけ、入学試験として「SDGs入試」を導入し、前面に押し出している。その着想から「SDGs」を軸に、キャリア教育もつなげていけるのではないかと考え、本格導入に向けた準備を進めてきました。率直に言えば、現在もそのような形がよいのかと

本質を理解する! SDGsカードゲーム



東京女子学院高等学校では、今年度から、授業内でSDGsカードゲームを取り入れている。カードゲームでは、SDGsの17の目標の達成に向けて、現在から2030年までの道のりを体感する。11月26日に高校2年生がカードゲームを体験した。ゲームでは、それぞれに割り当てられた「大いなる富」「悠々自適」「環境保護の闘士」などの価値観に基づいて目標達成に向けて事業に取り組む。それと同時に「世界の状況メーター」で、経済・環境・社会の影響変化を見ていくという流れだ。前半では、20%を超えて活発だが、環境は3%、社会はわずか2%と、住みやすいとはいえない世界となっていた。その結果を踏まえた後半は経済が若干下がり、環境が5%、社会が3%と前半に比べるとバランスが改善されたことが垣間見えた。このように見える化して世界的課題をとらえることができるのも、カードゲームの魅力の一つといえるだろう。また、一つのプロジェクトを達成することに費やされる資金や時間、また得られるものなどから、自然と仕事を行う上での自分の価値観に気づき、キャリア意識の醸成も期待できるとしている。

カードゲーム全体を通しての生徒の感想

- たくさんの人と協力することで、前半から後半へ良い変化があった
- 一つのことだけを意識すると悪い状況になるが、世界全体を見ることで困っている人たちが少なくなる
- 経済を充実させるのは簡単だったが、環境は費やす時間に対してお金をあまり得られず難しかった
- 自分のことだけでなく、他者や世界を見ることで、自分の目標はもちろん、相手の目標を達成することにもつながると実感した。日々の小さな意識で問題が解決に向かうのならば、みんなで声を掛け合い、結束力を高めたいと思うようになった
- 経済・環境・社会の3つのバランスを取りながら、プロジェクトを達成するのは難しい。つながりがないと思っていたことも、最終的な結果を見るときに気づく
- 自分事としてとらえることが大切だと思った
- ……など、SDGsをより身近な問題としてとらえらることに、一人ひとりはもちろん、世界全体として解決すべき問題だということに改めて気づいた生徒が多かったようだ。

「おもしろい」から見つける進路 大学生のロールモデルを期待

現代は、洪水とも形容される情報過多の時代で、自身の興味に向く対象を取り組みたいことを見つけて出すのが難しいという若者の声を聞きま。例えば、「計画的偶発性」という理論があります。五つの行動特性として好奇心・持続性・柔軟性・柔軟性・冒険心を掲げ、これらが揃えばよい良い出会いになるという考え方が、これも「やりた」ことが見つからない」という考えが自分自身でポジティブに「あの人のような大学生になりたい」と。そうしたある意味憧れのような感覚を抱かせる学生を育成することにより一層注力していきたい。人生は生涯学習が大切で、それを体現させている象徴が大学教員のみならず、その役割を担っている。大学における授業を通して、学び続けることの楽しさを、ぜひ多くの若者に伝えていただければと思います。



実在する企業からミッションを受け、新事業を提案する

「なぜSDGsに取り組むのか」を語る北村友人教授

講演の中では、「持続可能な開発」が公認された。「SDGs」の目標は、17の目標があり、導き出した答えを報道形式などでそれぞれの手法で表現した。後半は、北村氏による講演。北村氏は、グローバル化の教育に関するさまざまな研究を行っている。一方、東京都教育委員会の「教育委員会」として、内閣府教育再生実行会議初等中等教育ワーキンググループの委員も務務する。現代日本の教育界を牽引する一人だ。国連教育科学文化機関(ユネスコ)や国内外の大学の連携で、アジアにおける高等教育の国際化に関する研究を行っている。また、SDGsの目標を達成するためのプロセスにも教育の観点から携わっており、その経験を生かしてSDGsに取り組むことが、SDGsの目標の順番や

「SDGs」は、持続可能な開発のための教育」の取り組みを計画的に位置づけ、入学試験として「SDGs入試」を導入し、前面に押し出している。その着想から「SDGs」を軸に、キャリア教育もつなげていけるのではないかと考え、本格導入に向けた準備を進めてきました。率直に言えば、現在もそのような形がよいのかと

「SDGs」は、持続可能な開発のための教育」の取り組みを計画的に位置づけ、入学試験として「SDGs入試」を導入し、前面に押し出している。その着想から「SDGs」を軸に、キャリア教育もつなげていけるのではないかと考え、本格導入に向けた準備を進めてきました。率直に言えば、現在もそのような形がよいのかと

「SDGs」は、持続可能な開発のための教育」の取り組みを計画的に位置づけ、入学試験として「SDGs入試」を導入し、前面に押し出している。その着想から「SDGs」を軸に、キャリア教育もつなげていけるのではないかと考え、本格導入に向けた準備を進めてきました。率直に言えば、現在もそのような形がよいのかと

「SDGs」は、持続可能な開発のための教育」の取り組みを計画的に位置づけ、入学試験として「SDGs入試」を導入し、前面に押し出している。その着想から「SDGs」を軸に、キャリア教育もつなげていけるのではないかと考え、本格導入に向けた準備を進めてきました。率直に言えば、現在もそのような形がよいのかと

SDGsカードゲームは、国際連合(国連)でも取り上げられています。目標一つひとつを理解するというのが、SDGs教育の本質です。SDGsは、身近な生活にも取り入れられるようになることが、特に学習成果により良い変化をもたらすのではないかと期待しています。

仮に、自分のことに関心があることが、身近なことに目を向けるきっかけになるのであれば、SDGs教育は、まさにそのためのツールとして、活用できるのではないかと考えています。

「SDGs」は、持続可能な開発のための教育」の取り組みを計画的に位置づけ、入学試験として「SDGs入試」を導入し、前面に押し出している。その着想から「SDGs」を軸に、キャリア教育もつなげていけるのではないかと考え、本格導入に向けた準備を進めてきました。率直に言えば、現在もそのような形がよいのかと

「SDGs」は、持続可能な開発のための教育」の取り組みを計画的に位置づけ、入学試験として「SDGs入試」を導入し、前面に押し出している。その着想から「SDGs」を軸に、キャリア教育もつなげていけるのではないかと考え、本格導入に向けた準備を進めてきました。率直に言えば、現在もそのような形がよいのかと